

Funai Overseas Scholarship 第4回留学報告書

井上 剛

2021年3月

1 はじめに

2019年度奨学生の井上剛と申します。2019年の秋から New York University (NYU) で Computer Science の Ph.D Program に所属しています。NYUAD では、Computational Approaches to Modeling Language (CAMEL) Lab の一員として、自然言語処理の研究に取り組んでいます。

この報告書では、2020年夏学期から2021年冬学期の終わりまでについて報告します。



エティハド航空 2020年12月30日成田空港発便。エコノミークラス乗客2名。「プライベートジェットへようこそ」と挨拶されました。

2 2020年度夏学期

本来であれば夏学期が始まる前に New York 校から Abu Dhabi 校へと拠点を移すのですが、新型コロナウイルスによる影響で移動が先延ばしになりました。2020年の3月半ばから日本へ退避していましたが、Abu Dhabi 校は新型コロナウイルスによる影響で実質閉鎖されており、渡航したとしても在宅勤務になるため、そのまましばらく日本で過ごすことになりました。

新型コロナ禍において研究室でのコミュニケーションがなかなか取りづらいうということもあり、一日置きに数十分ほど研究室のメンバーと Zoom で雑談をする「CAMEL Coffee Break」というカジュアルなミーティングがありました。同期、同僚、指導教員と自然発生的にコミュニケーションが取れない状態で在宅勤務をするのは、とても苦痛でした。また狭い自室で主に作業をしていたため、仕事とプライベートの境目がなく、生産性を維持するのにとても苦労しました。同僚と Zoom をつけながらお互い

黙々と作業をするワークセッションをしたり、スマートフォンから仕事関連のアプリをすべてアンインストールしたりして、公私をなるべく分けるようにしていました。

3 2020年秋学期

秋学期以降は、アラビア語の言語モデルに関する研究に取り組んでいました。現代標準アラビア語、各種アラビア語方言、古典アラビア語それぞれの言語モデルを構築し、自然言語処理の基礎的なタスクにおいて、言語変種の差が後段のタスクにどのような影響をもたらすのかを調査するという研究です。

当初、言語モデルの構築そのものはすぐに見込んでいたのですが、実際にやってみると先行研究や関連研究の実験設定に不明点が多く、結果として多くの時間を費やしてしまいました。特に在宅勤務ということもあって一人思い悩むことが多く、同僚や指導教員と対面で毎日会えていたら状況は違っていたらと思うことが多々ありました。

今期は、EMNLP と COLING という 2 つの国際学会に参加しました。新型コロナウイルスによる影響で両方ともリモート開催です。録画されている発表を観て、Zoom やチャット等で著者と交流をしたり、バーチャル空間にいる自分のアバターを動かして、同じバーチャル会場にいる人たちと話したり、ポスターまでアバターを動かして、そこで質問をするという形式でした。気軽に参加できたり、発表が録画されていたりと便利な点はあるものの、実際に足を運んで得られるような臨場感がないのが残念でした。

4 2021 年冬学期

査証更新の関係で 2020 年 12 月 31 日までに UAE へ入国する必要があり、直前の 12 月 30 日成田空港発の便で出国しました。搭乗してみるとエコノミークラスの乗客は 2 人しかおらず、乗客よりも客室乗務員の人数の方が多いというプライベートジェット状態でした。

アブダビ国際空港に到着後、空港で PCR 検査を受けさせられ、GPS トラッカーが付けられます。入国後 14 日間は、途中 PCR 検査を受ける以外、部屋から一步も外に出ることができませんでした。2 週間後、指定の施設に向いて GPS トラッカーを外してもらい、自宅待機を終えました。重たい時計のようなものを付けたまま、充電の心配をしながら生活するというのが非常に不便でした。



GPS トラッカー。

キャンパス内のアパートに住んでいる場合、毎週 PCR 検査を受ける必要があります。費用はかからないのですが、鼻腔頭ぬぐい検査を毎週されることになります。唾液検査を選ぶこともできるのですが、UAE 政府が提供している新型コロナ対策アプリには、正式な検査結果として登録されないようです。

1 月半ば頃に大学から連絡があり、Sinofarm 製ワクチンをキャンパスで接種できるとのことで、1 月 16 日に 1 回目の接種、2 月 20 日に 2 回目の接種をしました。PCR 検査の結果やワクチンの接種の有無は、Emirates ID (日本でのマイナンバー) に紐付けられており、アプリ上でいつでも確認ができて非常に合理的だと思いました。



Sinofarm 製ワクチン。キャンパスで無料で接種できました。

5 おわりに

キャンパスでは一部だけ施設が開かれていますが、オープンスペースにあるデスクはまだ使うことができず、研究室のメンバーは在宅勤務が続いています。今までのように研究室のメンバーで意図せず他愛もない話をしたり、みんなでご飯を食べに行ったりできなくなってしまったのが、残念でなりません。早く状況が改善されることを心から祈っています。

最後に、さまざまな形でご支援をいただいております船井情報科学振興財団のみなさまに感謝申し上げます。